

(第8号様式)

令和2年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し			
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容		
							工事費	進捗率						
						目標年	用地費	進捗率						
道路事業	1	一般国道421号 大安ICアクセス道路	いなべ市	④	【全体事業概要】 延長 L=3,500m バイパス区間 L=2,200m 4車線化区間 L=1,300m 幅員 バイパス区間 W=6.5m(11.5m) 4車線化区間 W=14.0m(24.75m) 【主要構造物】 橋梁 N=1橋 【事業目的】 ・一般国道421号の交通渋滞の緩和 ・大安ICへのアクセス向上	H24	5,500	32%	【実施済事業内容】 ・橋梁取り付け部の道路改良 ・橋梁下部工 N=6基 【残事業内容】 ・橋梁上部工 N=1橋 ・バイパス区間道路改良 L=2.2km ・4車線化区間道路改良 L=1.3km	【関連事業(東海環状令和8年には東海環状自動車道が全線開通する予定とされており、これにより県をまたいだ高速道路の物流ネットワークが完成します。 【企業進出状況】 いなべ市では企業の新規進出や事業拡張が進んでおり、本事業への期待の声も寄せられています。このため、高規格幹線道路ICへのアクセスの強化となる本事業の必要性は一層高まっており、当該事業の必要性に変化はありません。	【費用対分析効果】 B/C=4.8 【コスト削減】 主要構造物として橋梁を1橋計画していますが、耐震性鋼材を使用し、塗装費用を削減します。また、道路法面の一部に張コンクリートを行い、草刈に要する維持管理費を削減します。さらに、道路の盛土材については、他工事との調整を図り、購入土を用いず他工事で発生する建設発生土を使用し、コスト削減を図ります。 【代替案】 既存家屋への影響などをもとに、既存の国道421号を拡幅するルートと計画ルートを比較、検証したところ、国道421号を拡幅するルートは補償物件が多く地域に与える影響が大きいことから、計画ルートを最適ルートとして採用したところではあります。	令和6年度に全線供に向け、事業を推進します。		

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

令和2年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
							目標年	用地費				
道路事業	6	一般国道167号磯部バイパス	志摩市	④	<p>【全体事業概要】 延長 L=2,500m 幅員 W=6.5(8.0)m</p> <p>主要構造物 トンネル 1本 橋梁 1橋</p> <p>【事業目的】 ・現道部に想定される津波浸水区域の回避により緊急輸送道路機能を確保 ・狭隘区間の回避により幹線道路機能の強化及び交通安全性の向上 ・救急救援活動の円滑な実施及び地域観光産業の支援</p>	H24	12,000	14%	<p>【実施済事業内容】 未整備 用地買収済み</p> <p>【残事業内容】 延長 L=2,500m</p> <p>主要構造物 トンネル 1本 橋梁 1橋</p>	<p>国道167号の津波浸水想定や線形不良、伊勢磯部線の事故多発、雨量規制区間などの問題解決のため、当事業の必要性に変化はありません。平成25年9月に伊勢志摩連絡道路の一部として「第二伊勢道路」が開通し、さらに平成29年12月に「鶴方磯部BP」が開通しました。この開通により、鳥羽市と志摩市間の道路ネットワークが強化されるとともに、国道167号を介して伊勢自動車道と繋がる広域的な道路ネットワークが拡大されており、残る区間にあたる磯部バイパスの重要度は益々高まっています。</p>	<p>【費用対分析効果】 B/C=1.2</p> <p>【コスト縮減】 現場発生土の流用や防草対策工などにより、維持管理費抑制に努めるとともに、当該事業から発生する残土について、近隣への処分や他工事への流用を検討するなど、コスト縮減に努めています。</p> <p>【代替案】 現道幅幅は多くの家屋が支障となることから、バイパス案が最適と考えており、また、平成30年度に用地買収が完了していることから、代替案はありません。</p>	令和6年度の全線供用に向け事業を推進します。
						5	11,614	11%				
						R6	386	100%				

注:再評価理由

- ①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- ②事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- ③再評価実施後一定期間が経過している事業
- ④社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業

令和2年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況(S56~R1)			事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 ・コスト削減の可能性 ・代替案の検討等	今後の事業の見通し
							総事業費	進捗率	事業進捗内容			
							(内訳)工事費	進捗率				
							(内訳)用地費	進捗率				
下水道事業	11	中勢沿岸流域下水道(雲出川左岸処理区)	津市	③	<p>【全体事業概要】 計画区域面積:3,236.1ha (うち津市3,236.1ha) 計画処理人口:101,060人 (うち津市101,060人) 流域幹線延長:12.2km ポンプ場:1箇所 処理能力 :60,700m3/日 終末処理場 :1箇所</p> <p>【全体総事業費】 総事業費:155,116 (流域下水道:43,826) (流域関連公共下水道:111,290) 工事費:150,825 (流域下水道:39,542) (流域関連公共下水道:111,283) 用地費:4,291 (流域下水道4,284) (流域関連公共下水道7)</p> <p>【事業目的】 津市から発生する家庭排水、工場排水を下水道に集水し、処理を行うことにより、流域内の河川及び伊勢湾の水質汚濁防止並びに地区内の生活環境の改善に資するものです。</p>	S56	108,246 (流域下水道: 30,350) (流域関連公共下水道: 71,896)	69.8% (流域:82.9%) (流関:64.6%)	<p>【整備済み】 (流域下水道) 処理能力:40,200m3/日 ポンプ場:1箇所 幹線管渠延長:12.2km (流域関連公共下水道) 計画区域:1,964.3ha</p> <p>【残計画】 (流域下水道) 処理能力:20,500m3/日 ポンプ場:—(完成済み) 幹線管渠延長:—(完成済み) (流域関連公共下水道) 計画区域:1,271.8ha</p>	<p>①津市の行政人口は、少子化の影響により、減少傾向になっています。</p> <p>②雲出川左岸浄化センターの放流先の公共用水域では、周辺環境調査により、水質や底質、底生生物のデータ収集、分析を継続していますが、数値に大きな変化は見受けられません。</p>	<p>【費用効果分析結果】 C(費用)=4,604億円 B(便益)=7,048億円 B/C=1.5</p> <p>【コスト削減】 具体例: ・小型マンホールの効果的な配置 ・長距離推進の採用によるマンホール数の削減 ・地形勾配に合わせた施工による管渠の浅層埋設</p> <p>【代替案】 集合処理:農業集落排水等 個別処理:合併処理浄化槽</p> <p>平成29年度の計画見直しに際し、社会情勢や地域特性を考慮し、経済比較を行った上で、代替案も含めて選定した結果により、現下水道計画区域を設定しています。</p>	今後、津市の下水道整備の進捗にあわせて残計画の処理場の施設を段階的に増設することとしています。
							103,955 (流域下水道: 32,066) (流域関連公共下水道: 71,889)	68.9% (流域:81.1%) (流関:64.6%)				
							4,291 (流域下水道4,284) (流域関連公共下水道7)	100% (流域:100%) (流関:100%)				

令和2年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	採択年	事業進捗状況(H2~R1)			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 ・コスト削減の可能性 ・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						総事業費	進捗率	事業進捗内容				
												(内訳)工事費
目標年						(内訳)用地費	進捗率					
下水道事業	12	中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)	津市、松阪市、多気町	③	H2	【全体事業概要】 計画区域面積:5,955.3ha (うち津市829.0ha、松阪市4,583.0ha、多気町543.3ha) 計画処理人口:167,164人 (うち津市19,750人、松阪市139,424人、多気町7,990人) 流域幹線延長:53.7km ポンプ場:6箇所 処理能力:92,200m ³ /日 終末処理場:1箇所 【全体総事業費】 事業費:336,013 (流域下水道:87,781) (流域関連公共下水道:248,232) 工事費:333,997 (流域下水道:85,798) (流域関連公共下水道:248,199) 用地費:2,016 (流域下水道1,983) (流域関連公共下水道33)	197,758 (流域下水道: 66,508) (流域関連公共下水道: 131,250)	58.9% (流域:75.8%) (流関:52.9%)	【整備済み】 (流域下水道) 処理能力:39,000m ³ /日 ポンプ場:6箇所 幹線管渠延長:53.1km (流域関連公共下水道) 計画区域:3,080.6ha 【残計画】 (流域下水道) 処理能力:53,200m ³ /日 ポンプ場:—(完成済み) 幹線管渠延長:0.8km (流域関連公共下水道) 計画区域:2,874.7ha	① 関連市町の行政人口は、少子化の影響により、人口が減少傾向になっています。 ② 松阪浄化センターの放流先の公共用水域では、周辺環境調査により、水質や底質、底生生物のデータ収集、分析を継続していますが、数値に大きな変化は見受けられません。	【費用効果分析結果】 C(費用)=7,333億円 B(便益)=10,002億円 B/C=1.4 【コスト削減】 具体例: ・小型マンホールの効果的な配置 ・長距離推進の採用によるマンホール数の削減 ・地形勾配に合わせた施工による管渠の浅層埋設 【代替案】 集合処理:農業集落排水等 個別処理:合併処理浄化槽 平成27年度の計画見直しに際し、社会情勢や地域特性を考慮し、経済比較を行った上で、代替案も含めて選定した結果により、現下水道計画区域を設定しています。	今後、関連市町の下水道整備の進捗にあわせて残計画の幹線管渠の整備と処理場の施設の増設を段階的に行うこととしています。
					S	195,742 (流域下水道: 64,325) (流域関連公共下水道: 131,217)	58.6% (流域:75.2%) (流関:52.9%)					
					R40	2,016 (流域下水道1,983) (流域関連公共下水道33)	100% (流域:100%) (流関:100%)					

令和2年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年		事業進捗状況(H2~R1)		事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果 ・コスト削減の可能性 ・代替案の検討 等	今後の事業の見通し
						目標年	総事業費	進捗率	事業進捗内容			
下水道事業	13	宮川流域下水道(宮川処理区)	伊勢市、明和町、玉城町	③	<p>【全体事業概要】 計画区域面積:4,668.6ha (うち伊勢市3,509.0ha、明和町677.4ha、玉城町470.2ha) 計画処理人口:119,598人 (うち伊勢市91,300人、明和町15,228人、玉城町13,070人) 流域幹線延長:48.5km ポンプ場:なし 処理能力:62,000m³/日 終末処理場:1箇所</p> <p>【全体総事業費】 総事業費:259,043 (流域下水道:81,307) (流域関連公共下水道:177,736) 工事費:254,179 (流域下水道:76,993) (流域関連公共下水道:177,186) 用地費:4,864 (流域下水道4,314) (流域関連公共下水道550)</p> <p>【事業目的】 関連市町から発生する家庭排水、工場排水を下水道に集水し、処理を行うことにより、流域内の河川及び伊勢湾の水質汚濁防止並びに地区内の生活環境の改善に資するものです。</p>	H10	140,520 (流域下水道:53,145) (流域関連公共下水道:87,375)	54.2% (流域:65.4%) (流域:49.2%)	<p>【整備済み】 (流域下水道) 処理能力:28,800m³/日 幹線管渠延長:32.6km (流域関連公共下水道) 計画区域:2,066.0ha</p> <p>【残計画】 (流域下水道) 処理能力:35,200m³/日 幹線管渠延長:15.9km (流域関連公共下水道) 計画区域:2,590.6ha</p>	<p>① 関連市町の行政人口は、少子化の影響により、人口が減少傾向にあります。</p> <p>② 宮川浄化センターの放流先の公共用水域では、周辺環境調査により、水質や底質、底生生物のデータ収集、分析を継続していますが、数値に大きな変化は見受けられません。</p>	<p>【費用効果分析結果】 C(費用)=4,745億円 B(便益)=5,780億円 B/C=1.2</p> <p>【コスト削減】 具体例: ・小型マンホールの効果的な配置 ・長距離推進の採用によるマンホール数の削減 ・地形勾配に合わせた施工による管渠の浅層埋設</p> <p>【代替案】 集合処理:農業集落排水等 個別処理:合併処理浄化槽</p> <p>令和元年度の計画見直しに際し、社会情勢や地域特性を考慮し、経済比較を行った上で、代替案も含めて選定した結果により、現下水道計画区域を設定しています。</p>	<p>今後、関連市町の下水道整備の進捗にあわせて残計画の幹線管渠の整備と処理場の施設の増設を段階的に行うこととしています。</p>
								135,656 (流域下水道:48,831) (流域関連公共下水道:86,825)	53.4% (流域:63.4%) (流域:49.0%)			
								4,864 (流域下水道4,314) (流域関連公共下水道550)	100% (流域:100%) (流域:100%)			